

メディア表現学科 オリエンテーション

※前方から着席してください。

<http://open.shonan.bunkyo.ac.jp/kyomu/>

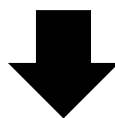


授業を受ける前に……

自分で時間割を作成



教育支援課に時間割を登録(履修登録)



授業を受けることができる

履修のてびき
P.10-13

●カリキュラム

所属の学部(学科)等に定められた授業科目のこと。

⇒授業科目を選択、履修し、卒業に必要な単位を満たす。

※入学年次によって異なる場合があります。

●単位修得

履修登録をし、登録科目の授業をきちんと受け、内容を理解し、試験に合格すると単位が修得できる。

●セメスター制度

1年間を春・秋の2学期に分け、各学期(セメスター)ごとに授業が完結する制度。

履修のてびき
P. 7-10

= 注意 =

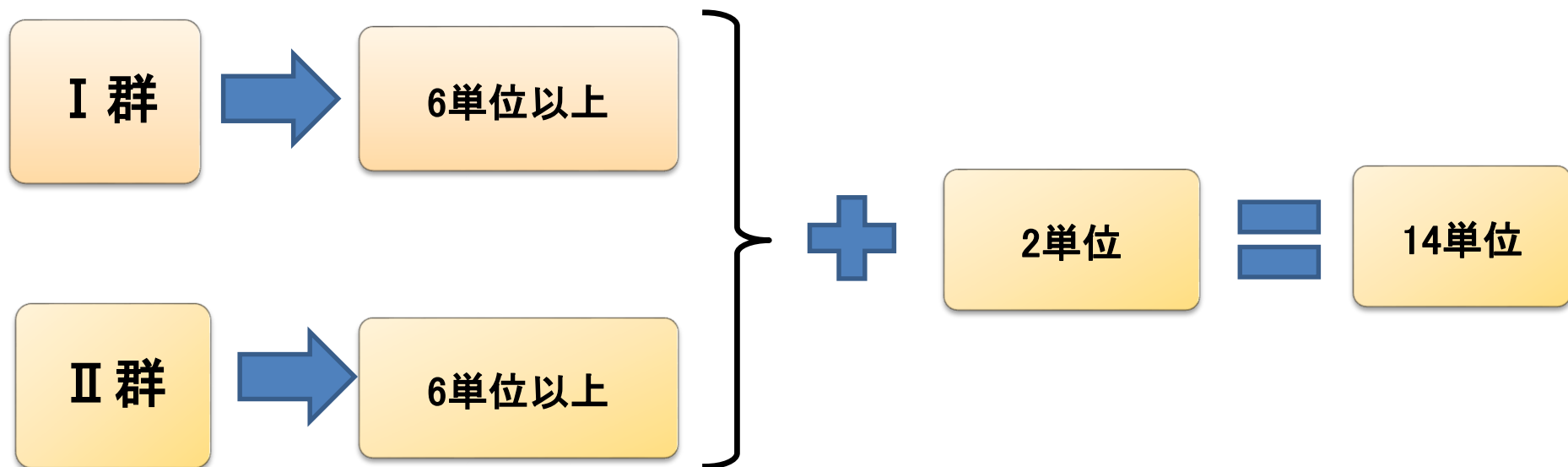
- * 決められた期間に、きちんと履修登録をしないと、
授業を受けることができない。
- * 出席が足りなかったり、課題を提出しない場合は
試験を受ける資格を失う
- * 出席や課題が足りていても、試験の成績が悪い
場合、単位は与えられない。

履修のてびき
P.9

4年以上在学し、下記の単位を修得しなければ、
卒業できない。

■ 共通教育科目	14単位
■ 外国語科目	6単位
■ 専門教育科目	104単位
<hr/>	
合計	124単位

履修のてびき
P.15



計 14単位

履修のてびき
P.16

群	科目	単位	開講セメスター			
			1	2	3	4
			1年次		2年次	
I	哲学	2	○	○		
	倫理学	2	○	○		
	日本国憲法 ※	2	○	○		
	音楽	2	○	○		
	文学	2	○	○		
	美術	2	○	○		
	人間関係論	2	○	○		
	心理学	2	○	○		
	スポーツ科学	2	○	○		
	スポーツ・健康演習 ※	2	○	○		
II	社会学入門	2		○	○	
	経営学入門	2		○	○	
	経済学入門	2		○	○	
	法学入門	2		○	○	
	宗教学入門	2		○	○	
	情報倫理とモラル	2		○	○	
	数学入門	2		○	○	
	技術と人間	2		○	○	
	生命科学	2		○	○	
	現代社会のエネルギー論	2		○	○	
合計			14 単位			

表中の○は・・・

「このセメスターから開講・履修可能となり、これ以降の学年でも、同学期で履修できる」という意味

※このセメスターのみ開講という意味ではないので注意！

例)「哲学」

○は1・2セメスターにあるので、1年次から履修可能かつ、春学期・秋学期も開講される。
→2年次以降も春・秋で履修可能！

履修のてびき
P.16

■ 卒業までに、6単位修得

外国語Ⅰ(必修) : 2単位

外国語Ⅱ(必修) : 2単位 合計 6単位

外国語Ⅲ(選択) : 2単位

→卒業要件以上修得した科目の単位は、
最大2単位を、専門選択科目の単位として
充当できる。

※留学生は日本語会話・日本語読解・日本語作文(各2単位)
から6単位の修得が必要。

履修のてびき
P.17

＝注意＝

* 履修するに当たって条件が設定されている科目がある。

例：英語ⅡAと英語ⅡBは、英語ⅠAと英語ⅠBの両科目の単位を修得後、履修可能です。

履修のてびき
P.17

■ 卒業までに、**下記単位数**を修得

学部共通： 6単位

必修： 32単位

選択： 66単位

合計104単位

履修のてびき
P.15

■ 学部共通科目

- 同一セメスターでは、2科目4単位まで、履修することができる。
- 卒業要件以上修得した科目の単位は、最大6単位を、専門選択科目の単位として充当できる。

履修のてびき
P.18

■ 必修・選択科目

→ 下記科目は、選択科目に充当することができる。

他学科の専門教育科目 } 合計24単位まで
 他学部の専門教育科目 } (ただし、他学部は6単位まで)

履修のてびき
 P.23

＝注意＝

* 履修するに当たって条件が設定されている科目がある。

例:「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」は、48単位以上の単位を修得後、履修可能です。

履修のてびき
P.23

情報システム学科

- システム開発領域
- 情報デザイン領域

情報社会学科

- コミュニケーション戦略領域
- プロジェクトマネジメント領域

メディア表現学科

- メディア表現領域

履修のてびき
P.30

■ 主専攻

→主専攻が認定される領域は**自学科**の領域

→領域に配置された科目を**30単位以上**修得することで、主専攻と認定される。

履修のてびき
P.30

■ 副専攻

→主専攻が認定されていないと、副専攻は認定されない。

→副専攻が認定される領域は**自学科を含むすべての領域**

→領域に配置された科目を**16単位以上**修得することで、副専攻と認定される。

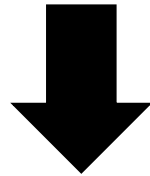
履修のてびき
P.30

＝補足＝

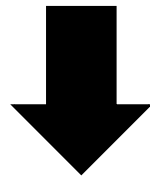
- * 主専攻と副専攻は、卒業要件ではない。
- * 主専攻と副専攻の事前登録は行わない。
→セメスターごとに成績を確認し、対象科目を履修し終えた時点で認定される。

履修のてびき
P.30

必修科目



選択科目



抽選登録対象科目の確認

= 注意 =

- * 指定されたクラスを選択しているか確認。
- * 定員欄に人数の記載がある科目は、
抽選登録が必要。
- * 時間割の変更は、教育支援課HPで確認。

抽選登録 1 回目 履修登録 1 回目	4月 1日10 : 00 ~ 4月 2日23 : 59
抽選登録 2 回目 履修登録 2 回目	4月 5日10 : 00 ~ 23 : 59
履修修正期間	4月13日10 : 00 ~ 4月14日23 : 59

- 登録2回目までに、時間割をほぼ確定しておくこと。
- 登録作業は、ビブスにログインし行う。
- 日程に余裕をもって、登録作業を行うこと。

時間割冊子
P.10

= 注意 =

- * 履修登録をしない場合、**除籍**となる。
- * **セメスターごと**に、履修登録が必要。
- * 履修できるのは、**各セメスター22単位**

履修のてびき
P.7-10

- 実際の登録画面にて説明します。
 - B!bb'sへのアクセス、ログイン。
 - 科目追加、削除、確定の手続。
 - 抽選登録申請、申請取消の手続。
 - 抽選登録が必要な科目(対象者のみ)。
 - ⇒履修登録終了後は、印刷(もしくはスクリーンショット)にて、必ず記録を残しておくこと。

時間割冊子
巻末

■ 特定有資格者に対する単位認定

申請書を教育支援課HPからダウンロード



「合格証明書」(証書は不可)

と共に教育支援課に提出

申請期間: 4月1日～4月9日

教育支援課窓口開室時間内: 平日9:10～16:40

土曜9:10～11:30

時間割冊子
P.8

勉学状況が著しく低いと判断される学生に対し、面談等が実施される。

例：1 Semester（1年春学期）終了時の総単位数が
12単位未満の場合
→保証人および本人に連絡し面談実施

履修のてびき
P.23、31

①「文章演習」はオンデマンドor対面の希望を出す必要があります。

→B!bb'sのアンケートから申請

②履修登録が完了するまではmanabaの自己登録が必要です。

→情報システム室のマニュアルを確認

①情報学部で取得できる教員免許状

情報システム学科

- ・高等学校一種「情報」
- ・中学校一種「数学」・高等学校一種「数学」

情報社会学科

- ・高等学校一種「情報」

メディア表現学科

- ・高等学校一種「情報」

※情報社会学科生、メディア表現学科生が情報システム学科の科目を履修することで「数学」の免許状を取得することも可能

②教員免許状の取得には、教職課程履修登録が必要です
無登録で教員免許状を取得することはできません

③教員免許状の取得には、授業料のほか、教職課程履修費が必要です

④教員免許状の取得には、卒業単位数よりさらに多くの単位取得が必要です

詳細は月曜5限「教職概論」で説明します。
興味のある方は必ず出席してください。
(説明を聞いたうえで登録しなくてもかまいません)

履修のてびき
P.103～

わからないことがある場合は、
教育支援課までご相談ください。

ご清聴ありがとうございました。